

マイクロマウス各競技と全日本大会の今後について

40年の節目を見据え、マイクロマウスがより魅力ある大会となるため、そして、より大きく発展するために、マイクロマウス委員会では、マイクロマウスの競技の在り方、そして、各地区大会と全日本大会を含めた運営の在り方について検討し、マイクロマウス2018から、以下の通りに整理・再構成することといたしました。具体的には、競技名を整理・変更し、全日本大会において各競技への出場資格を設定します。

1. 競技種目について

本年度（2018）より、競技の名称を改め、全日本大会では、次の3種目の競技を実施します。

また、従前のクラス分け（エキスパートクラス、フレッシュマンクラス）は廃止します。

マイクロマウス競技 ※旧：マイクロマウス（ハーフサイズ）競技

クラシックマウス競技 ※旧：マイクロマウスクラシック競技

ロボトレース競技

2. 全日本大会の運営について

全日本大会ではいずれの競技についても、次の運用とします。

出場資格制の導入

全日本大会に出場できるのは、その年度の各地区大会の完走記録保持者とします。

ただし、とくに地区大会への参加が難しい場合（外国からの参加者等）の出場資格については別途検討し、Web等で告知します。

全日本大会における予選の廃止

出場資格制の導入に伴い、前年まで行っていた予選を廃止し、決勝競技のみを行います。（そのため、決勝の名称は使わず、単に**競技と呼びます。）

マイクロマウス競技（旧：マイクロマウス（ハーフサイズ）競技）においては、競技への出場ロボットが運営可能な台数を越えた時は、地区大会等の結果にしたがってファイナリストを選考し、そのファイナリストにより競技（これをファイナルと呼びます）を行います。また、ファイナリストに選ばれなかった出場者（出場資格のある者に限り）は、異なる迷路で競技（これをセミファイナルと呼びます）を行います。

マイクロマウス競技のファイナルは32×32迷路で行い、セミファイナルは、より小さな迷路（2018年度は16×16サイズを予定）で行います。

この、出場資格と予選の廃止により、全国大会の大会日程を1日短縮し、当面、2日間の運営とします。これにより、多様な会場の選択と柔軟な運営を可能とし、将来的には、多くの観客を

集めることのできる会場を利用することを検討しています。

参加者の皆様には、ご理解をお願いすると共に、新しい枠組みのマイクロマウスにも変わらぬ情熱で取り組んで頂けることを、期待しております。

平成 30 年 2 月
マイクロマウス委員会